

# 会議録全部記録

□全部記録 ■要点記録

1	会議名	姫路市地域自立支援協議会全体会（令和3年度第1回）
2	開催日時	令和3年 6月21日（月） 10時00分～12時00分
3	開催場所	姫路市役所北別館3階 講義室
4	出席者	<委員> 姫路市地域自立支援協議会 委員21名 <事務局> 障害福祉課長、障害福祉課主幹、障害福祉課担当者
5	傍聴人数	0名
6	次第	1 開会 2 選任書交付 3 委員紹介 4 会長選出 5 副会長指名 6 議事 (1) 令和3年度姫路市地域自立支援協議会事業計画について 7 報告 (1) 姫路市障害福祉推進計画（令和2年度実績）について (2) 第6期姫路市障害福祉推進計画の概要について (3) 姫路市障害者虐待防止センターの状況について 8 その他 9 閉会
7	配布資料	<事前配布> 資料1：令和3年度姫路市地域自立支援協議会事業計画（案） 資料2：姫路市障害福祉推進計画に係る令和2年度実績について 別冊資料：姫路市障害福祉推進計画及び概要版（令和3年3月改訂） 資料3：姫路市障害者虐待防止センター 通報・相談件数 <当日配布> 会議次第 令和3年度 第1回姫路市地域自立支援協議会配席図 姫路市地域自立支援協議会委員名簿
8	会議の要点内容	以下のとおり

事務局	1 開会 (10:00)
	2 選任書交付
	3 委員紹介
会長	4 会長選出
	5 副会長指名
	6 議事
事務局	(1) 令和3年度姫路市地域自立支援協議会事業計画について 【資料1：令和3年度姫路市地域自立支援協議会事業計画(案)】説明
会長	委員から何か質問はあるか。
委員	3点ある。1点目は、姫路市障害福祉推進計画の19ページにおいて、「支給決定基準について、全面的な見直しが必要ではないか」という意見がある。どこの場で協議するのか。 2点目は、他部署との連携がもっと必要ではないかと感じている。他部署との連携をどこの場で議論するのか。もしなければそのような専門部会をつくっていただきたい。 3点目は、重度障害者医療費制度について。議会の本会議で、市議会議員が制度の拡充に関する質問をしていた。その時の答弁が「厳しい財政事情から拡充は考えておりません」と答弁していた。財政部門の職員に会議に出席してもらい、実際に説明してもらうことは可能か。
事務局	支給決定基準の見直しについては、時間を要するので、専門部会等で検討してもらうことになると思う。
委員	追加でもう1点。福祉有償運送事業について、障害福祉推進計画に記載がない。記載していない理由は障害福祉課の所管ではないからと推測するが、実際に利用している人は障害者のみであり、事業者も手をつなぐ育成会1者のみである。福祉有償運送事業は障害者の移動支援の1つのツールであり、どこかに記載がないと事業自体が無くなってしまう。計画に記載してほしい。
会長	地域自立支援協議会は、計画の進捗状況を報告してもらい、意見するという役割を持っている。 他部署との連携について、障害のある人の生活は、障害福祉サービスだけで賅えるものではない。保健・教育・医療・就労分野に関するものなど、日常生活の中で密着し

事務局	<p>ている。ヨコの連携含めてこの協議会で議論できればと考えている。</p> <p>支給決定基準の見直しは、最終的には社会福祉審議会に諮り、決定するものだと認識しているが、見直しの過程においては、地域自立支援協議会にも報告してもらえたらと思う。事務局から何かあるか。</p> <p>市の財政に関する事項は財政課の所管になるが、会議の場には出席することはない。その代わりとして、我々が意見をお聞きして、財政課と折衝する仕組みになっている。</p> <p>重度障害者医療費制度の拡充については、障害福祉課が所管ではないので、お答えできない。議会本会議での答弁のとおりである。</p> <p>福祉有償運送事業は、他計画に記載があるか確認できていないが、障害福祉推進計画に記載すべきという意見であるならば、次期計画の策定会議で検討することになる。</p>
会長	<p>今回、事業計画案に挙げているテーマは優先課題として取り上げている。今後、協議したいテーマがあれば、全体会等で意見していただきたい。他に意見あるか。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、事業所単位で接種することはできないか。利用者の家族から問い合わせがあり、保健所に相談したところ、各家庭から予約した方が早いという回答だった。また、利用者の中には、家庭全体に支援が必要な場合もあるので、嘱託医にも相談したが、高齢者の予約で埋まっており、対応できないという回答だった。</p> <p>障害分野以外、例えば保育士に関しては、集団接種会場で接種するので、法人で人数をとりまとめてくださいと、市役所の保育担当部局から連絡があった。障害分野は高齢・保育分野と比較すると規模が小さいので仕方ない部分もあるが、今後、障害福祉課としてどのように対応していくのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>ワクチン接種については、保健所の新型コロナウイルスワクチン担当と情報共有しながら対応しているところである。事業所ごとの接種については、医師の協力がどこまで得られるかという問題がある。また、アナフィラキシーショック等の関係があるので、皆さんの状態をよく把握しているかかりつけ医で個別接種した方がよいのではないかと考えている。</p>
会長	<p>本日、保健所長が出席されている。何かご発言ありましたらお願いしたい。</p>
委員	<p>現在の状況を報告したい。本日 21 日から、60～64 歳で基礎疾患を有する者に対しての予約を前倒しで開始している。障害のある方を優先的に接種することに関しては検討していたが、国から突然 7 月末までに高齢者の接種を完了しなさいという話が出てきて大混乱している。また、国の大規模接種会場が何の制限もなく、クーポン券がきたらすべて申し込むことができるし、職域接種の話も出てきて、事実上優先順位が無くなった。事業所ごとの集団接種については、例えば 100、200 人単位で人数をとりまとめてもらえれば、集団接種会場で枠を確保することは可能である。ご相談いただければ</p>

<p>会長</p>	<p>ばと思う。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。この情報は、各団体で情報共有してもらえたらと思う。話を事業計画案に戻したいと思う。特に意見が無いならば、以上の説明をもって、本事業計画をご承認いただけるか。</p> <p>&lt;賛同&gt;</p>
<p>会長</p>	<p>承認いただいたので、原案どおりに進める。議事は以上である。</p> <p>7 報告</p> <p>(1) 姫路市障害福祉推進計画（令和2年度実績）について、及び(2) 第6期姫路市障害福祉推進計画の概要について、事務局から報告してもらう。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料2：姫路市障害福祉推進計画に係る令和2年度実績について 別冊資料：姫路市障害福祉推進計画及び概要版（令和3年3月改訂）】説明</p>
<p>会長</p>	<p>本計画の策定会議には、私も委員として参加したので補足説明する。第6期計画では、計画の進捗状況が把握しづらい等の理由から、重点目標の絞り込みを行っている。また、先ほどの事業案で説明があった専門部会の検討テーマについては、重点目標に沿ったものとなっている。何か質問はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>2点ある。1点目は、先ほどの実績報告は、障害福祉サービスの数値に関するものだった。私が知りたいのは、数値では出てこない課題である。例えば、昨年出てきた課題に対し、具体的な変化があれば教えてほしい。説明が難しい場合は、次回の実績報告では明記してほしい。</p> <p>2点目は、各サービスの見込数値について。これは過年度の実績に基づいて算出されたものだと認識しているが、何か施策の実施等を考えて見込んだ数値ではないと思う。大事なことは、計画の数値が増えることは必ずしも良いことではないということ。例えば、インクルーシブ教育を謳っているものにも関わらず、放課後児童クラブと放課後等デイサービスに分かれている実態がある。姫路市が、障害のある子どもたちのインクルーシブをどうするのかを考えて、施策を実施した結果、見込数値が出てくるのが本来好ましい。大事なことは、適切な支援、支給をしていくことである。</p>
<p>事務局</p>	<p>見込数値の算出について、国の基本指針等でやむを得ない場合がある。数値以外の具体的な課題・目標については、地域自立支援協議会の専門部会等を活用しながら議論していきたい。</p> <p>子どもに関する課題については、昨年度学校と事業所との連携を議論した。今年度はさらに放課後児童クラブも交えて、連携・意思疎通が図れるようにしていきたい。連携がうまく行っている校区を参考事例とし、好事例として各校区へ情報をおろしてい</p>

	<p>きたいと考えている。</p>
委員	<p>そういった議論が大事であると認識している。放課後児童クラブとの連携はホットな話題である。明石市では、作業療法士を配置したりしている。姫路市がトップランナーと言われるぐらい進めてほしい。</p>
委員	<p>第6期計画の見込数値について、重度訪問介護が第5期計画と比較して減少している。理由は何か。</p>
事務局	<p>計画の見込数値については、過去数年度間の実績を勘案して設定している。重度訪問介護については、減少傾向であったが、策定会議の意見を受けて、現状維持としている。</p>
委員	<p>グループホームの利用について、障害者の自己決定・自己選択が果たしてできているのか。重度訪問介護の利用を減らして、グループホームを増やすことで、行政の効率化を図っているのではないか。</p>
事務局	<p>グループホームを増やすことで効率化を図っているのではない。グループホームを増やすと計画に記載している意図は、日中サービス支援型グループホームを整備することで、いわゆる「親亡き後」へ対応するためである。本市の現状を言うと、身体障害者対象のグループホームは少なく、知的・精神障害者対象のグループホームがかなり増えている。従来では、在宅で生活されていた人で介護者が支援できなくなったら、入所施設しか選択肢が無かった。最近は、平日はグループホームの利用で、土日は在宅で生活するという利用も増えている。グループホームが増えていることで、一概に自己決定の機会が減っているという捉え方はしていない。</p>
委員	<p>A L S（筋萎縮性側索硬化症）は24時間見守りが必要である。肢体不自由の障害がある人は、人の手を借りないと生活できない。姫路市は、あまり見守りを認めない。姫路では生活できないのか。</p>
事務局	<p>24時間誰かの確認が必要な場合としてA L Sを挙げられたと推測するが、A L Sの方で、在宅で生活されている方は今思い出せるだけでも数件ある。フォーマル・インフォーマルの資源を組み合わせて、生活を送っていただければと思う。特定の疾病をもって、入所を薦めているわけではなく、現状の生活を維持できるように相談支援事業所と一緒に考えている。</p>
委員	<p>意見になるが、福祉有償運送事業について、所管を高齢者支援課から障害福祉課へ移してほしい。</p>
会長	<p>意見として、伺っておく。</p>

<p>会長</p>	<p>(3) 姫路市障害者虐待防止センターの状況について 次の報告に移る。報告(3)の姫路市障害者虐待防止センターの状況について、事務局から報告してもらう。</p>
<p>事務局</p>	<p>【資料3：姫路市障害者虐待防止センター 通報・相談件数】説明</p>
<p>会長</p>	<p>何か質問はあるか。</p> <p>&lt;意見なし&gt;</p>
<p>会長</p>	<p>今日の会議で感じたことを申し上げたい。 重度訪問介護の実績が減っている。これは、障害のある人が地域で暮らしていくことを選択しない状況があるのではないかと感じている。 福祉有償運送事業について、利用者が増えてくれれば事業者も増えるが、その背景として制度が使いづらい、事業を実施する人材不足がある。もしくは採算がとれないところも関係しているのではないか。 計画の見込数値について、実績が減っているから減らすのではなく、本来あるべき見込数値は何なのかということ。これについては、今後議論を深めていく部分だと思う。</p> <p>9 その他</p>
<p>会長</p>	<p>他に意見はあるか。</p> <p>&lt;意見なし&gt;</p>
<p>会長</p>	<p>議事を終了する。</p> <p>10 閉会 (12:00)</p> <p>(終了)</p>